

平成24年度総合型地域スポーツクラブサミット in 山形

山形県教育委員会・山形県体育協会・山形県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会が主催し、山形交流プラザ「山形ビッグウイング」を会場に平成24年10月28日（日）に開催しました。

参加者69名で午前中基調講演、午後分科会という日程で行われました。

< 開会行事 >



山形県教育庁スポーツ保健課
堀江 昭 浩 課長補佐

(公財) 山形県体育協会
小川 潔 事務局長

< 基調講演 >



演題 『総合型地域スポーツクラブの将来像』
～スポーツ基本計画から探る～
講師 松田雅彦氏

【講師プロフィール】

- ・日体協地域スポーツクラブ育成専門委員会
中央企画班班長
- ・総合型地域スポーツクラブ
「しまもとバンブークラブ」顧問
- ・大阪教育大学附属高等学校平野校舎教諭

今年度のマネジャー養成セミナーにおいて好評であった松田雅彦先生を再度お迎えし、3月に策定されたスポーツ基本計画を説明・解説いただきながら総合型クラブが担う役割、期待される役割等を学びました。

参加者からは「新しい公共」や「新たなしくみづくり」といったクラブシステムが理解でき、今後に繋がるといった声が聞かれました。

< 分科会 >

第1分科会

『100年続くクラブをつくる』

～将来を見すえたマネジメントのために～ 講師 松田雅彦 氏

クラブ運営は目の前の課題に追われてしまい、事業を実施していくのに精一杯なのが現状である。せつかくの機会なので改めてクラブの将来をイメージしてみました。参加者はグループに別れ、それぞれのクラブの課題や将来像を話し合いました。



第2分科会

『地域から期待されるクラブをつくる』

～行政と共に地域の活力となるために～ 講師 中阪雅則 氏



【講師プロフィール】

- ・和歌山県海南市教育委員会生涯学習課長
- ・NPO 法人ゆうゆうスポーツクラブ海南参与
- ・NPO 法人下津スポーツクラブ参与
- ・憩楽クラブかつらぎ事務局長

行政と地域住民を繋ぐために総合型クラブがある。行政がクラブづくりに関わる必要性和、クラブが行政とどのように関わっていけばよいのかをご自身のお仕事やクラブ立ち上げの経験を基にお話いただきました。

参加者からは「行政側からの本音や実状をお聞きでき大変参考になった。」「行政にも悩みはあって、互いのメリットを考える必要があった。」などの声が聞かれました。

< 閉会行事 >



県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
鎌田博子 会長